

町長タウンミーティング 開催結果

3月4日（火）10：00～12：00 白老コミセン（参加者8名）

質疑・意見等

Q 人口減少が進んでいる中で、1つの自治体で水道運営はできない。登別市や苫小牧市との協力するべき。

A 将来的には広域化も検討しなければならないと考えている。

Q 市街地と市街地以外で料金を差別化するなどしてコンパクトシティを進める考えはあるか。

A 公共交通等の課題もあるため、将来的にはコンパクトな街づくりを目指していかなければならないと考えている。

Q 老朽管の耐震対策とは具体的にはどのようなものか。

A 現在敷設されている管をポリエチレン管やダクタイル鋳鉄管などの耐震管に更新していくもの。

Q 水を0～1㎡しか使っていない人もいるのため、基本料金を細分化してほしい。

A 平成23年より基本料金は5㎡・8㎡の2段階方式を採用している。また、上下水道事業運営審議会からも、料金体系はこの2段階方式を継続するよう提言されたため、今回の料金改定では細分化は行わない。今後検討する。

Q 給水人口が減少する推計となっているが、料金改定ありきの推計にしているのではないか。人口が減らないようにしていくべきではないか。

A 当然町として人口減少対策は行っていくが、現状の推計では減少傾向となるため、ご理解いただきたい。

Q どうしても今年から値上げしなければならないのか。審議会の開催期間から見てもスケジュールがタイトに感じる。もう少し時間をかけ、町民合意を得てからでいいのではないか。

A グラフで説明したように、令和7年度の収支予想では収入と支出がほぼ同額となり、令和8年度からは赤字となるため、先伸ばしすることはできない。

Q 先日冬期間における防災訓練を実施していたが、防災対策が十分とは感じなかった。そんな中、今水道料金を改定するということは、防災対策よりも水道料金改定の方が優先順位が高いと判断しているのか。

A どちらが優先順位が高いということは一概には言えないが、防災対策も行っていかなければならないし、料金についても改定しなければならない。

Q 施設や管路の老朽化の話はなぜ今となって突然出てきたのか。

A 突然出たわけではなく、町として把握はしていた。今後は情報発信を強化するなどにより、随時町民の皆様と共有していきたい。



町長タウンミーティング 開催結果

3月5日（水）10：00～12：00 萩野公民館 （参加者13名）

質疑・意見等

Q 町民を置き去りにしているように感じる。新水道ビジョン・経営戦略のパブリックコメントも広報にQRコードを載せただけで、ほとんどの町民はこのことを把握していないと思う。もっと町民へ説明を行うべき。

A QRコードについては若い世代も含めた多くの方々に情報を届けるため利用している。また、今回の料金改定については、議会での議決前にタウンミーティングという形で町民の皆様に説明の場を設けさせていただいている。

Q 急に市街地に強制的に移住させることは難しいと思うが、今後、市街地以外のインフラの整備は行わないなど、条例を整備して時間はかかってでもいいからコンパクトシティを進めてほしい。

A インフラの整備、公共交通の運行を含めいつまで継続できるかわからない。現在計画を策定しており、市街地を中心として居住を誘導していけるよう進めていきたい。

料金の改定は当然だと思う。道外で下水道管の事故があったが、パトロールやいざという時のお金は必要となる。施設の更新についても1.5倍までは大丈夫だろうと説明していたが、「だろう」では困る。更新に必要なお金は料金としてきちんと徴収し、危機管理意識を高めてほしい。

Q 管路の総延長310kmとあったが、不要な管を撤去してはどうか。また、虎杖浜第2浄水場が一番お金がかかっていると聞いている。人口も減っている中で、止めることは考えていないのか。

A 無駄なものが無駄な経費に繋がっていることは重々承知している。浄水場含めて無駄な経費を削減できるよう今後も考えていく。虎杖浜第2浄水場については、令和19年度に廃止する予定はあるが、その時の給水人口や給水量、事故があった時などを総合的に含めて考えていく。

Q 令和12年度にも改定予定となっているが、施設の整備・更新にまで受益者負担はどうか。5年間は80,000千円を一般会計から繰り入れるとのことだが、5年後はどうなるのか。

A 水道事業は公営企業であるため、原則としては独立採算であるが、町民負担が大きすぎるため、町としても半分を負担することとした。5年後については今回の改定によって経営状況がどうなるのかなど、状況を見ながら検討していく。

Q 令和12年度の40.9%は金額にするとどのくらい上がるのか。

A 今後の経営状況や給水人口など様子を見ながら検討していく。40.9%というのはあくまでもシミュレーション上の数字である。



町長タウンミーティング 開催結果

3月5日（水）14：00～16：00 虎杖浜生活館（参加者8名）

質疑・意見等

Q 300円を値下げしていたということだが、ここまで経営状況が悪化することを想定していなかったのか。

A 300円の値下げは毎年度条例改正という形で実施しており、その都度検討は行ってきた。コロナ過や物価高騰などの影響もあり、町民の皆様の負担軽減ということで継続してきた。

Q 人口が減少していく中で、値上げしなければ経営していけないというシミュレーションであるが、令和12年度の改定含め、今後も料金は上がり続けることとなると思う。今回一般会計からの80,000千円の繰り入れがあるとのことだが、今後の負担割合など、しっかりと町民と共有していくことが重要だと思う。繰入金を含めて令和12年以降の展望を説明してほしい。

A 今後の展望としては、令和11年度までの経営状況、国からの支援状況などを踏まえて示していきたい。

Q 繰入金に関連して、白老町は下水道使用料が高い。また下水道会計では一般会計から600,000千円程繰入しているが、水道の施設でこれだけ更新費用が掛かるのであれば、下水道施設はもっと掛かるのではないかと。合併浄化槽は1台1,000～1,500千円程で整備できる。下水道を縮小し、代わりに浄化槽を整備してあげるなどしないと財政破綻になりかねないのではないかと。

A 白老町は早い時期から下水道を整備し、普及率も高いため、老朽化も進んでおり更新費用も掛かっていることは把握している。今後は人口規模にあったインフラ整備をしていかなければならないと考えている。

